

令和5年度 第3回学校運営協議会 会議実施報告

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 羽島特別支援学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和6年2月21日(水) 10:00~12:00
- 3 開催場所 羽島特別支援学校 会議室
- 4 参加者 委員 野口 和彦 大浦区長
平井 崇広 万灯会 まさき園施設長
豊島 裕香 羽島市主任児童委員
宮本 芳貴 長谷虎紡績株式会社 総務部門長
坂倉 恒光 グランド川村店主
南谷 麻紀苑 P T A会長
岩田 裕子 P T A副会長

| | | |
|-----|--------|--------|
| 学校側 | 田中 久仁子 | 校長 |
| | 横山 知加子 | 事務部長 |
| | 早坂 英主 | 教頭 |
| | 由井 真紀子 | 教頭 |
| | 河野 美由紀 | 小学部主事 |
| | 浅野 普敏 | 中学部主事 |
| | 岡田 一朗 | 高等部主事 |
| | 伊藤 真一 | 教務主任 |
| | 川村 敏之 | 生活支援部長 |

5 会議の概要(協議事項)

(1) 校長挨拶

- ・活発なご意見をいただき今後に生かしていきたい

(2) 生徒会活動の取り組み紹介(生徒会役員、生活支援部長)

- ・PPを使用し、高等部生徒会会長、副会長より説明

質問1: 挨拶運動の成果はどうか

→ (生徒会長) 挨拶をすると返してくれるので気持ちがいい

質問2: 学校キャラクターの選定方法はどのように行うか

→ (生徒会長) 複数のキャラクター候補より全校アンケートを実施し決定した。

意見1: 素晴らしい方法で決めている。キャラクターも素晴らしい。今後とも継続してください。

(3) 各部の成果と課題（各学部主事）

- ・PP を使用し各学部主事より発表

意見1：コロナ後、この経験を生かして全体を見直す機会ととらえ、すべて元通りに戻すのではなくいるものいらぬものを検討すべき

質問1：PDCAサイクルを大切にしているが、校内にとどまらず他校とのPDCAに関する情報交換等はあるのか

→夏季休業中等県内の特別支援学校が集合し、研究会、研修会等で情報を共有している。また、今年度は東海地区の知的障害教育校の研究会を当校主管で行った

意見2：ICT活用は事業所でも進めているので、学校で慣れ親しんでいるとよい

意見3：事業所では、職員がシフト制であるため職員間のつながり、コミュニケーションが希薄になりがちである。貴校でも職員間の連携を大切にしようとする課題を明確にしているので頑張ってもらいたい。

意見4：他校の運営協議会に参加し、県立と市立との違いを感じた。一貫校が巷では人気のようであるが、貴校は小中高を一貫して支援できるのでその強みを今後も生かして行ってほしい。

質問2：生徒の実態把握とはどのように行っているのか

→一人で決めつけないように多方面から児童生徒個々を捉えるようにしている。多様な見方をするように心がけ、家庭での様子なども加味していけるようにしている。

質問3：1年間の計画を立てるが、変更する時にはすぐにできるのか

→大枠の計画（目標や学習内容）はある。目標に向かうためのアプローチ方法はその都度検討し、詳細な計画を立てている。変更の手順はあるので、それに従って変更を行っている。

意見5：PTAの事業所見学は本年度3回実施したが、参加者が多く各回2日間で行った。特に中学部の保護者の見学に対する熱意を感じた。中学部の進路支援が丁寧に実施されていると感じた。

質問4：小中高での周辺地域校との交流について知りたい

→高等部は羽島高校科学部と来年度5年ぶりに計画を予定している。

中学部は羽島中学と学校間で交流を行っている。

小学部は小学部4年と正木小4年が学校間交流を行っている。

その他居住地校交流も行い、居住地とのつながりも重視している

意見6：多様性の時代、子ども達の多様性を受け入れて、すごく優しく手厚く支援いただいている。卒業後のギャップが心配である。

(4) 学校預り金について

①R4年度決算報告（事務部長）

- ・別紙参照

②R6年度学校諸費等年間納付額

- ・別紙参照 給食費は暫定価格（まだ提示されていない）

(5) 全体を通してご意見・ご感想

意見1：喫茶店の利用など具体的に生徒の姿を見ることができてよく分かった。分かりやすい説明もありがたかった。

意見2：本年度は授業参観等ありよかった。模擬選挙等今のうちに体験できていると、社会に出たときに役立つと思う。今後ともこのような活動を取り入れて行ってほしい。

また、大谷選手のグローブで野球を楽しんでほしい。

意見3：全体的に温かさを感じている。小中とはどこか違う。世間の厳しさは当然卒業すると分かるが、地域の方等へ知っていただくことは大切である。協力できる場所があると思うのでできることを一緒に行っていきたい。

意見4：職員の児童生徒に対しての熱意をいたるところで感じた。卒業後が心配という話が

出ているが、受け入れ側としてもできるところは協力していく。雇用側が力になれることもあると思うので一緒に考えていきたい。

意見5：修学旅行やプール学習等実施できて本当に良かった。この1年いろいろな活動ができるようになりよかったと思う。

意見6：PTA役員になり学校のこと地域とのがよく分かった。学校には見守ってもらっている安心感をすごく感じている。世の中も少しずつ変化しているように思う。子どもが外出中にパニックになっても周囲の目が温かく変わったように思えることがあった。地域の方等に分かってもらうことの大切さを感じた。

意見7：地域等と学校が連携しているこの会議を今後とも継続してほしい。

6 会議のまとめ

本年度の生徒会の活動及び各部の教育活動の成果と課題について共有し、他校種との比較や民間企業・就労先としての事業所等の立場、保護者の目線等からの評価や今後の教育活動へのご意見並びにご助言を得ることができた。来年度の学校運営及び教育活動に反映し実践していきたい。